

授業科目	臨床心理学特論Ⅰ		担当教員	長野 恵子	
展開方法	講義・演習	単位数	2単位 必修	開設時期	前期
<b>【授業目標】</b>					
<p>これから心の相談・支援の専門家をめざす学生にとって土台となる、臨床心理学の学問領域としての歴史的背景、4種の専門性（心理面接、心理査定、臨床心理学的地域援助、調査研究）、人間理解のあり方と援助論、職業倫理について学ぶ。臨床心理学の発展の経緯と専門性の確立過程を理解することは、これからの心理臨床の活動を支える基礎となり、他職種との連携、協力における自らの職業的アイデンティティーにかかわってくる。援助論においては、グループアプローチや非言語的なアプローチをとりあげ、理解を深める。</p>					
<b>【授業方法】</b>					
<p>講義を中心とし、関連文献、資料を調べた上でのレポート発表、討論を取り入れながら行なう。</p>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床心理学の定義と独自性</li> <li>2. 臨床心理学の歴史的展開</li> <li>3. 日本における臨床心理学及び臨床心理士養成の歴史</li> <li>4. 臨床心理士の養成と課題</li> <li>5. 臨床心理の専門性とその領域</li> <li>6. 臨床心理学における対象</li> <li>7. 臨床心理学における人間理解のあり方</li> <li>8. 臨床心理学における援助者の姿勢</li> <li>9. 臨床心理学における援助論（1）個別のアプローチ</li> <li>10. 臨床心理学における援助論（2）言語的アプローチと非言語的アプローチ</li> <li>11. 臨床心理学における援助論（3）グループ支援と地域における展開</li> <li>12. 臨床心理士の職業倫理とは</li> <li>13. 臨床心理士の職業倫理に関わる事例</li> <li>14. 他の専門領域との関連性</li> <li>15. 臨床心理学の課題と展望</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
<p>レポート（60％）と授業参加態度（40％）で評価する。</p>					
<b>【教科書・参考書】</b>					
<p>教科書 大塚義孝（編） 臨床心理学全書1 「臨床心理学原論」 誠信書房          鑑幹八郎・名島潤慈編著「新版・心理臨床家の手引き」 誠信書房</p> <p>参考書 下山晴彦（編）「よく分かる臨床心理学」ミネルヴァ書房          下山晴彦（編）「臨床心理学の新しいかたち」 誠信書房</p>					
<b>【学生に期待すること】</b>					
<p>学部において臨床心理学を専攻したものと同等以上の知識・技能を持つ学生を対象とする。          発表担当以外の学生も、予め授業範囲の教科書を読み、指定する文献を調べた上で授業に臨み、討論に積極的に参加すること。授業中に指示する専門用語等については復習しておくこと。</p>					